

キャラクター名
遊間 灰理

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	女給
	ノイマン					
オプション			年齢	20	性別	女
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	天涯孤独	経験	敵性組織	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	0	0	1			1	行動値	10
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	10
精神	6	0	2			8	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識: FH	1		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル	射撃	1r+4	-	8		メジャーアクションとして、その威力は通常の射撃よりも高く、この効果は射撃時のみならず、この効果が付いた武器で攻撃した際に発動する。
チェック・メイト	射撃	8r+9	-	8		1+2 浸食4
エンド・ゲーム		0	-			3+4 浸食12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
制服	
携帯電話	
コネ: UGN幹部	
コネ: 傭兵	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
超血統(セレクトィッド)	P	N		
遊間 陽(あすま よう)	P 信頼	N 劣等感		
遊間 和人(あすま かずと)	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: ノイマン	2	2	メジャーアクション	-	-	シンドローム		
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする								
コントロールソート: 射撃	1	2	メジャーアクション	武器	-	効果参照		
効果: このエフェクトを組み合わせた判定は【精神】で判定を行える								
常勝の天才	4	6	セットアッププロセス	視界	シーン(選択)	-	ピュア	
効果: 対象がこのラウンドに行うあらゆる攻撃の攻撃力を[Lv×4]する。ただし、このエフェクトはあなた自身を対象にできない。このエフェクトは1シーンに1回まで使用できる。								
勝利の女神	1	4	オートアクション	視界	単体	自動成功	100%	
効果: 対象が判定を行った直後に使用する。その判定の達成値を+[Lv×3]する。このエフェクトは1ラウンドに1回まで使用できる。								
戦術	3	6	セットアッププロセス	視界	シーン(選択)	自動成功		
効果: 対象がこのラウンド中に行うメジャーアクションのダイスを+LV個する。このエフェクトはあなた自身を対象に選択できない。								
プロファイリング	★	0	メジャーアクション	視界	効果参照			
効果: 物品や品物を観察し、通常は気づかないようなちょっとした情報から対象の人物像を描き出すエフェクト。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

灰の猟犬(グレイ・ハウンド)というコードネームでFH戦闘部隊「ムーンドッグ」の戦闘指揮を執っていた過去を持つ。灰と付けられた由来は彼女の独特な髪色と、文字通り敵が灰となるまで殲滅する徹底さと冷徹さを皮肉ったもの。

彼女は物心ついたときから孤児でオーヴァードだった。自分の名前すら知らない幼子がチェスで大人に勝ち、使ったことのない道具で遊び始める。神童と呼ぶにはあまりにも異常すぎる姿は天涯孤独の身を決定付けたと言える。母親は見つからず、最終的に引き取ったのは……レネゲイドウィルスでビジネスで利用しようとする戦争屋だった。弱冠六歳で紛争地帯へと赴き、さながらチェスのように戦場を動かす。時にはライフルを持って戦場に駆り出され、戦果を挙げる。魔女や悪魔と蔑まれながらも、生きていくためにはそうするしかなかった。そんな異常性は人間性や倫理観を歪な形で形成しうるに十分だった。

やがて、ムーンドッグのドッグマスターである鷹条 映一にスカウトされ、彼が率いる猟犬の一員としてFH傘下で活動することになる。既に非人道的な行為に手を染めすぎてしまっていた。引き金は軽く、いつも狩りの対象は人か人の形をした何かだった。彼女がFHでの生活の中でジャムと化さなかったのは、失う心が無かったからだろう。灰色の心は黒に染まりきることにはなかった。しかし、そんな人生に転機が訪れる。UGNと関連ある人物の暗殺を請け負い、それを実行したときだ。彼らには息子がいた。年齢は彼女が初めて戦場に立った時と同じ6歳で、目の前で両親を失った精神的ショックで記憶が混濁し、オーヴァードとしての力が暴走を始めていた。そこで初めて彼女の内に罪悪感というもの芽生えた。自分が欲しかったものを奪い、自分と同じモノを作ったという後悔は灰色の心を黒く塗りつぶした。幸運にも当時のN市UGN支部長だった遊間 陽が駆け付け、命懸けでその場を収めることができたが、彼女は引き金を引くことができなくなっていた。

FHの構成員、そして殺人者として身柄を拘束された彼女の半生を聞き、同情した遊間 陽の懇願によって、名前もない少女は贖罪の機会を与えられた。それはUGNとして寝返り、命を捧げること。戦いたくないと一度は断ったが、自分が孤児にした子供に平和な生活を送らせるため、引けない引き金を引くことを決意した。